

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）7～8月展示

企画展「猫・犬・猿・虎 —暁斎の描いた動物たち—」展

同時開催 特別展「第30回かえる展」

河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから→
<http://kyosai-museum.jp/>



会期：平成28年7月1日（金）～8月24日（水） 休館日：毎週木曜、8月26日～31日

入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円、団体要予約（20名以上）

先月に引き続き、企画展と特別展を同時開催しております。

暁斎は、幕末に舶来した虎や象、豹を見物に出かけ、その姿を写生しました。また、自宅にたくさんの生き物を飼っては写生し、弟子たちにも写生させたといひます。企画展では、暁斎が観察して描いた写生図から、動物たちを戯画化して描いた楽しい掛軸や錦絵まで、暁斎一門による動物画の数々ご覧いただけます。また、第三展示室では、当館の夏恒例の特別展「かえる展」を開催しております。併せてご覧下さい。

『暁斎酔画』第三編より 「虫の遊」

明治23年（1890） 松崎半造発行 版本

上部には、柿の実の駕籠を先頭にした蛙と兎の大名行列が描かれ、左下では蛙とモグラが相撲を取っています。蛙に兎、ネズミ、モグラ、コウモリと小動物がまるで人間のような仕草で、生き生きと描かれています。本図は、『暁斎酔画』の第三編の1図で、「虫の遊」と題名がついています。現代人にとっては両生類と哺乳類しか描かれていませんが、当時は「虫」と総称していたのかもしれませんが、『暁斎酔画』は、七福神や神仙図、祭礼行事から戯画まで様々な絵が収められた、暁斎の絵本のひとつです。



暑い夏ですが、楽しみもたくさんです くるみ保育園園長 松本麻紀

わっしょい！わっしょい！自分たちの作品でデコレーションしたお神輿を元気がかつぐ5歳児。そしてやはり自分で作ったうちわを手にもそれを応援する4歳児。毎年恒例の「くるみまつり」のオープニング風景です。7月2日にこの日を迎え、子どもたちは張り切った姿でした。保護者主催のこの行事、子どもたちのためにいろいろな工夫をこらして、休日返上でゲーム作りをされていた保護者の方々でしたが、子どもたちの嬉しそうな顔に、やりがいを感じたことでしょう。楽しい行事でした。

楽しかった行事と言えましょう。3・4・5歳児と職員みんなが泥んこ遊びを思い切り楽しもう！という日がありました。水を流すとどンドン川のように流れていたり、池のように広がる様子にキャーキャー。最

初は遠慮がちに遊んでいた子どもたちも、だんだん汚れを恐れず！？泥の感触を楽しみ、ダイナミックに遊び様子にワクワクしました。みんな泥がはねてステキなお顔に笑いもいっぱいでした。夏ならではの楽しみです。

そして待ちに待ったプール開きも行いました。5歳児クラスがみんなの為に一生懸命お掃除し、ピカピカに磨いてくれたプールで水ヨーヨー釣りをしました。これからプール遊びが主活動になります。「気持ちよかったあ〜」「ワニ歩きできるよ！」「目があけられた！！」といろいろな声が聞こえてくるでしょう。小さいクラスもかわいい水着姿でお水ジャーと楽しむことでしょう。今年も暑さが厳しそうなので健康には十分気を付けて、子どもたちと夏を満喫したいと思います。